

# ふくしま ゆめトライ

福島県内で夢に向かって  
新たなチャレンジをしている方、  
地域を盛り上げるために  
頑張っている方を紹介します！



醸造所に隣接するセラードア(試飲直売所)  
で自慢のワインを手に笑顔の牧野さん。  
「ブドウ畠が一望できるこの場所で、ぜひ  
おいしいワインを飲んでください！」

## 福島の酒文化に ワインという新たな香りを添えたい

株式会社 吾妻山麓醸造所  
代表取締役 牧野 修治さん (福島市)



ワインの試飲はもちろん、購入もできる  
セラードア。どの食事に合うかも分かるの  
で、お気に入りの一本が見つかります。



ワインを最高の状態で出荷するため、日々の品質  
管理が欠かせません。



約1ヘクタールのブドウ畠とセラードア。

福島市桜本字梨子沢4-2  
024(563)5057

宮城県仙台市出身の牧野修治さん。ワインに魅了され、アメリカの大学でブドウ栽培とワイン醸造を学び、2009年に山梨県のワイナリーに就職。経験を積む中、東日本大震災が発生しました。生まれ育った東北の復興のため、恩返しをしたい——。そんな思いが日々増す中、吾妻山麓醸造所の前社長、横山泰仁さんと出会いました。「福島市初のワイナリー設立に力を貸してほしい」と話があり、2021年に福島市へ移住しました」と牧野さん。当時はアドバイザーの立場でしたが、2021年に社員となり、2024年には代表取締役に就任。現在は、栽培と醸造を統括し、営業活動も行っています。

大事にしているのは「ブドウ本来の味わいを引き出すこと」。「味の8割は原料の質で決まるため、草刈りや剪定などの農作業を丁寧にし、ブドウに栄養を行き渡らせています」と牧野さん。そのおいしさが評価され、創業からわずか数年で「日本ワイナリーアワード2025 3つ星」や「SAKURA Award 2025 シルバー賞」など数々の賞を受賞しています。これから の目標は、「福島県!!日本酒」というイメージにワインも加えること。そのため、県内のワイナリーと協力して、県内産のワイン用ブドウの収穫量を増やし、福島のワインをPRしていきたいと意気込みます。これからも牧野さんの活動から目が離せません。